

タル片大ニ營業上ノ利益ヲ得タルニ因
リ其株ヲ賣買スルモ非常ノ高價トナリ
今日ニ於テモ伯林府内ノ藥高ノ株ハ概
シ十萬麻内外ヲ以テ賣買スルモノナリ
故ニ其營業ヲ俄ニ自由ニスル片ハ明素
其株ヲ買得ニタル者大ニ損害ヲ被ムル
ノ事情アルヲ以テ諸職業ノ自由ヲ許シ
タル片ニ此營業ノハ舊法ヲ存シ置キ
タルナリ

然ルニ旧規身中ニ藥高ハ夜中何時ニテ
モ營業ヲ爲シ人ノ需要ニ應セザル可カ
ラサル事藥種ハ如何ナル高價ナルモ
ニテモ所持セザル可ラサル事藥種ハ定

價ニ依テ販賣スル事等ノ定限アリ今
日ニ於テモ其規身ヲ遵守スルカ故ニ大
ニ一般ノ便利トナリタルモノハ豫期セ
ザル所ノ結果ト云フハニ

右ノ如クナルカ故ニ醫師及藥高等ノ制限ニ至
テハ自由家ト雖ハ之レニ及対スルヲ能ハハル
ノミナラス却テ之ヲ贊成スルモノアリ以テ自
由職業ノ一偏ニ傾ク可カラサルヲ知ル可シ
右ノ外産婆及船長等ノ營業皆等分ノ制限ヲ要
スルモノナリ

學校教師及代人等皆此類ナリ其種類ノ職業

尚多之救學又可ラス
第二 風俗ヲ害スル營業ト看認ノタル中ハ
六 他ノ禁タルヲ得
由業例ニハ酒店、飲食店、質屋、等、如キモノ是
レヲナリ
其營業上ヨリ人ノ素行ヲ乱ルモノヲ
誘道スルモノヲハ故ナリ
又定リタル高店ニ於テセシテ人ノ住
所ニ就キ物品ヲ販賣スルモノ亦之ニ
属ス是等ハ人ノ住居ニ近ク入り遂ニ犯
罪ノ端ヲ為スモノナリ
行為ヲハモリタルカ故ナリ

又演劇ノ類ハ故部中ニ属ス

第三 職業ノ種類ニ依リ近隣又ハ衆庶ノ妨

害ヲ為ス者ト看認シタルハ其營業上ニ
制限ヲ立テ若クハ之ヲ禁止スルモノヲ得
是等ノ營業ヲ許否スル前ニハ官府ヨリ公
告ヲ為シ他ノ故障ナキヤ否ヲ検査スルモ
其ノ由ラス故一旦許可シタル後トモ其妨
害ヲハトテ發見スル片ハ之ヲ禁止スル
モノヲ得ルモノナリ
但シ之レカ為メニ損害ヲ人ニ被ムラニ
メタル片ハ之レハ賠償ヲ為サレル可ラ
ス其場合ニ於テハ其事情ニ依リ或ハ官

夫ヨリシ或ハ展廳ヨリ計或ハタリト
ヨリマカ等ノ展別專ルモナリ
右等ノ制限ヲ之ルモリハ自由職業中妙例外ナ
ルヲ以テ自由主義ニ背馳スルモノト云フ可
ラス何トナシハ凡而ノ事皆一被ノ通弊ヲ立テ
其中ニ就テ例外ヲ設ルハ自然ノ通理ナリ以
テナリ
然レモ物皆一定ノ原由ニ基テカレハ汎濫ノ勢
底止マハ所ナキモノナルヲ以テ後令主治者ノ
權ヲ以テ是等ノ制限ヲ為シ得ルナキトスル
モ如何ナル場合ニ之ヲ行フハキナク豫定
セサル可ラサレハナリ

故ニ是等ノ營業ヲ許否スルニ付テハ
レヲ他ノ行政官ニ任セス必ス各地方ノセルグ
スト、フエル、ウ、ワ、ン、グ、(自治ノ施政ヲ為ス処
ニ於テ公平ニ調査ヲ為サシムルモノトス
第四 職業ノ種類ニ依リ同業者ノ競争スル
モノナクシテ其價又平均スル能ハサルカ
又ハ競争者ヤルモ需要者ニ於テ急速ヲ要
スル競争者ノ出ツルヲ待ツ能ハサルカ
モ、ニ付テハ營業上ニ制限ヲ立テ定價ヲ
以テ供給ヲ為サシムルモノトス
例ハ、道路、於テトラスケ(馬車)ヲ賃貸
シ及ヒ、ゲニス、ト、マン(所小使)ヤ人ノ傭役

ニ應スルカ如キ是ナリ
是ノ等シテ業者ニ定價ヲ定メザルハ
ハ需要者不測ノ損害ヲ被ルモノアル
カ故ナリ
又營業ノ種類ニ依リ其定價ヲ誰レニテモ見
易キヨウニ揭示セシムルナリ
例ハ麵包屋籠籠屋等ニテ定價表ヲ店
頭ニ掲示セシムル等ノ如キ是ナリ
第五 職業者自身ヲ為メニ其職業上ノ制限
ヲ為スヲ得ルモノトス
自由職業ノ主義ヨリ之ヲ去ルハ同業者集
テ結社スルモ又ハ之ヲ為サハルモ皆營業

ノ自由ニ任セズトハ一切之ニ干渉ス
可ラサルモノナレバ 独逸ニ於テハ 營業者
自身ヲ保護センカ為メニ一千八百八十一年
ニ至リ 独逸ライヒンノ新法(ノイユインマン
ダ)ヲ以テ 職業者ハ其同業者ニ非ラサルモ
利害ノ關係ヲ同クスルモノトシテ自由ニ結社
營業スルヲ許セタリ
此レ其營業者ノ利益ヲ保育(フリイグ)セン
カ為メ及ヒ 營業者ノ榮譽ヲ堅固ニ(ステル
クシグ、デル、スマンデス、エーレ)保タシメシ
カ為メナリ
又職工師弟間ノ關係ヲ親密トシメ及ヒ

其授業規則ヲ改良セシメ、
職工結社法律上ノ人（ユリチツセベ
ルゾー）ト看做カレ、
一被社会ニ対シテ其權
利義務ヲ行フモノナリ
其社ハ其社中救助ノ為
メウツンケルカスセ
（協款金積立所）ヲ設ケ
又シトツスゲレト（勸解所）ヲ設ケ
同業者
ノ間ニ起ル争論ヲ勸和
マシムルヲ得

又其社員ヲ定メ社員ヨリ
其社ヲ維持スル
ニ足ルキ費用（バ
イワレ）ヲ徴収スル
ヲ得
一其社費ヲ收ムルニ付テハ
マイン
トヤ（已入費）ヲ取り立
ルト同様ノ手續ニ
依リ強迫手段ヲ用ル
ヲ得ルモノトス
社員ノ社員ニ背キタル
モノハ其社ニ於テ
罰金ヲ科スルヲ得
其新法ハ未ク實施ノ年
數ヲ経サルニ依リ其利
害得失ヲ詳ニスル能ハ
ズト雖モ旧法ノ害アル
モノヲ捨テ利益アルモノ
ヲ採用シタルモノナ
ルカ故ニ必ク好結果ヲ
見ルニ至ルハシ

但し旧法に依りて結社したる者若し十八
百八十五年迄に新法に從て其社を改定せ
ざる者ハ其社を解散せしむる事ヲ許す
又ハ其旨を布告したる者ナリ
右ノ外職工ノ師弟及ヒ營業者ト服役者トノ間
係ヲ示したる規程ヲスタテ於テ制定スル
トテ得ルモノトス
其要目ハ概テ左ノ如シ

一 營業者ハ其職業上ニ付傭役スル者ノ雇ヲ
解クハ之ヲ不意急速ニス可ラス必ス縁
日前ニ之ヲ豫示ス可クナクハ如キ是レ
ナリ

二 職業上ノ服役ニ十二歳未満ノ者ヲ用ユ可
ラス

十二歳以上十六歳迄ハ工場ニ於テ服役ス
ルトテ得ルトモ凡其服役時間ヲ限ラサル
可ラス又ガラス製造所及鑛山等ノ如キ場
所ニ於テハ其使用スルトテ許ササル等ノ
規程ヲ出スカ如キ是レナリ
又レ若衛生ノ趣意ニ基キスタトトノ係
護ヲ與フルモノナリ若シ然ラステテ自
由ニ任スルハ其ハ大ニ少年者ノ健康ヲ誤
ルモノアルカ故ナリ

三公権ヲ停止セラレタル者ハ十八歳以下ノ

三 徒弟ヲ有スルヲ許サズルハ八歳以下
公権停止ノ刑ヲ受ルル如キモノハ不良
ナルモノナラバ以テ人自子弟ヲ誤ルル
惡シキ事ナリ
右等ノ外十八歳以下ノ少年者ヲ使用スルモ
ハ其健康ヲ害セサル様其風儀ヲ破ラサル様ニ
注意スベキ事諭告セラルリ
又少年者ノ就學時間ヲ奪取サル様ニ注意セ
ム
十四歳迄ハ通常就學年限ナリ而シテ
ト、ビエルヴシグス、ヒュー、レ(其進歩ヲ助成ス
ル學校)ナルモノアリテ記簿法及外國語學等

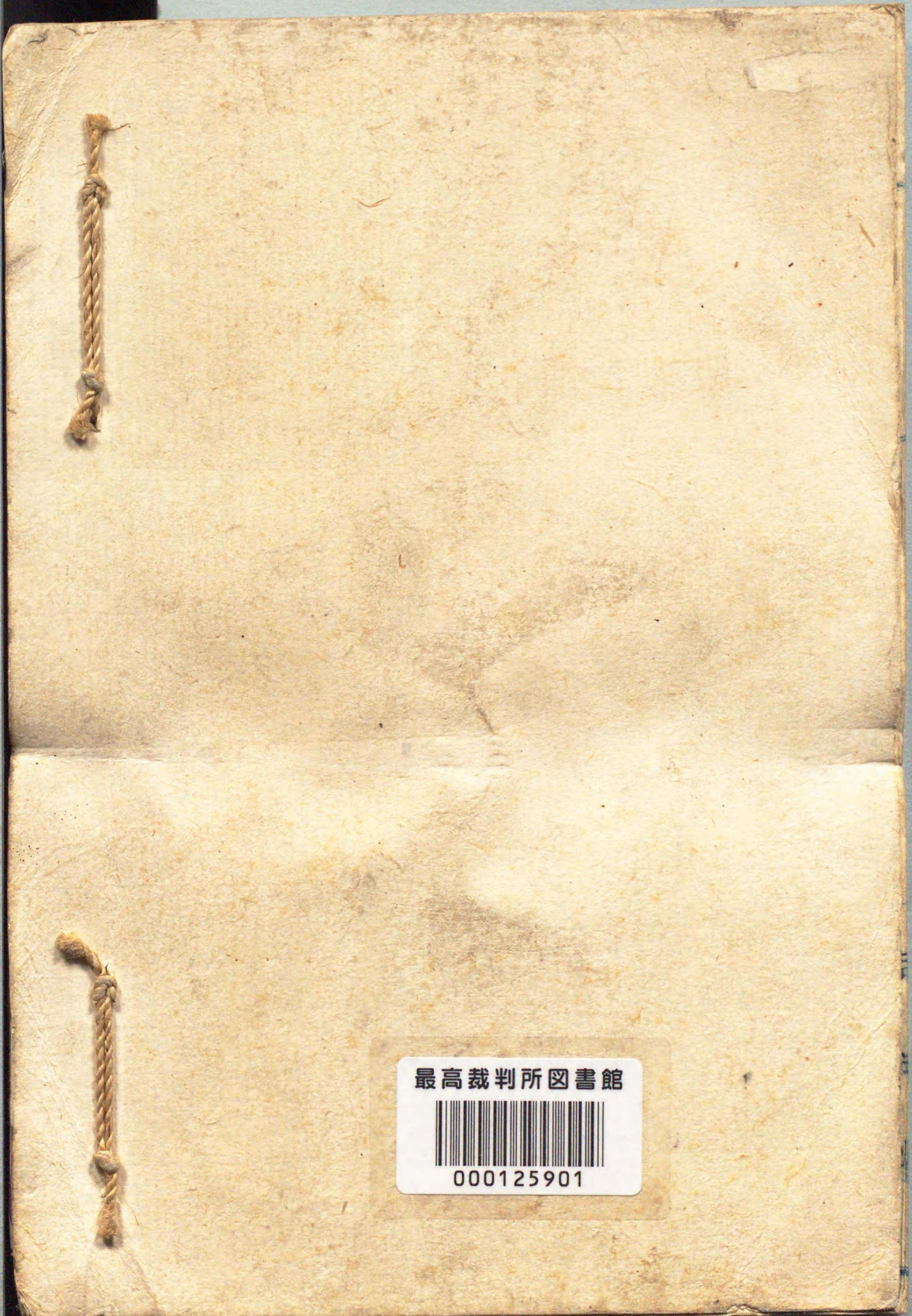
ヲ教育スル所ノ就學時間アリ
是等ノ學校或ハ区(ゲマインデ)ニ屬スルモ
、アリト雖モ多クハ職業組合ノ私ニ係
ルモノナリ
右等ノ会社ニシテ危險ノ事業ヲ為スモノ若シ
他人ニ損害ヲ被ラシメタル中賠償ノ義務アル
ハ鍊道会社ノ法ニ同シ

Vertical columns of handwritten Japanese text on the right page, mostly illegible due to fading.

職工就業中不幸に遭遇して其身体ヲ損傷シタ
ルニ付テノ救助ニ必要ナルモノナルカ故ニ病
氣ニ於ケル(現ニ講述法アリ)ト同ク其方一ヲ保
険スヘシトノ説アリ
又アルバイテルベシジョンカスセ(職工退隱料
規程)ヲ立ツヘシト論スルモノアリ
右ノ論説ハ未ク実行セラレヌト虽モ其法ノ成
立蓋シ遠キニ非ラサルヘシ何トナレハ右等ノ
保険法ヲ設ルハハ職工者ニ於テ救助ヲ得ルノ
利益アルハ固ヨリ論ナク之ヲ使用スル所ノ
營業者ニ於テモ其時々自ラ損害ヲ償ヒ救助ヲ

為ス等ノ煩ヲ免カルル利益ヲ得ルカ故ナリ
勿論此法ヲ設ルハハ營業者ハ勿論職工者モ平
時ニ於テ幾分ノ出金ヲ為サレムル下ヲ要スル
モノナリ
右等ノ救助法ヲ設ルハスルハモ義務ナシテ
力ヲ尽スヘキモノナリトス何ナリハ職工者
ハ孰レノ^國於テモ其數甚多キモノナリ
貧民ニ之テ其日稼キヲ以テ生活ヲ為スモノナ
リ故ル一旦不幸ニ遭遇スルカ老衰ニ事ニ堪
ヘサルヲヤトハ一家舉テ饑渴ニ迫ルノ憂アリ
ハ之ヲ救フ或ハ不良ノ心ヲ起シテ犯罪者トナ
ルカ又ハ救貧院ノ厄介物トナルニ至リ一救公

衆ノ妨害トナルモノアルヲ以テナリ
是等貧民ヲ之テ其所ヲ得ヤレムルハ國ノ安寧
ヲ保ツノ豫防法ニシテ即チ社會黨ノ如ク其
ヲ未ダ起ラザルニ防クモノナリ故ニ我々國
ハ貧民ヲ之テ其所ヲ得ヤレムルヲ以テ終身
目的ト為スト云ヘリ也余カ救助法ノ成立
遠キニ非ラサルヘシト云フ所以ナリ
現今吾國ニ於テハ鑛山ニ使用スル役吏ヲ救
助スル所ノ(クナ)プニヤツワスカワヤ)ナルモ
ノアリ也其鑛夫ノ不幸病氣老衰ニ係ルモ
ノヲ救助スル為ニ設ケタルモノニシテ其
效能甚多シ



最高裁判所図書館
000125901

